

第3章 調査の手法・手順

本調査では、第1章に示す評価フレームワークに沿って2002年10月から12月にかけて国内作業、現地調査を実施した。第3章では、ジンバブエ、ザンビアに対して行った評価調査の手法と手順を解説する。

3.1 国内準備作業

3.1.1 対象プロジェクト／プログラムの選定とその概要

(1) ジンバブエ

ジンバブエで我が国が実施して来た水関連案件を分析し、対象案件の選定を行った。我が国はジンバブエ独立以降、同国の地方給水設備拡充に貢献してきた。1983年に始った無償資金協力「地方給水施設整備計画（フェーズ I-III）」では、ミッドランズ州、東マジョナランド州における水供給改善を目的として、関連資機材調達とジンバブエ側への技術移転を目的とした深井戸給水施設建設を10年に亘って実施した。1997～99年には、ジンバブエの中で貧困率が高く給水・衛生環境整備が遅れている北マタベレランド州ビンガ地区を対象に「ビンガ地区地方給水計画」を実施した。ジンバブエにおける我が国支援による地方給水事業は以下の通りである。

表 3-1 ジンバブエにおける我が国支援による地方給水事業

案件名	実施年度	投入	対象地域	活動概要
地方給水施設整備計画フェーズ I	1983-1985	8.0 億円	ミッドランド州の 5 郡	・ 井戸掘削機材の調達(2 式) ・ 深井戸建設工事 81 ヶ所
地方給水施設整備計画フェーズ II	1988-1989	5.2 億円	ミッドランド州の 6 郡	・ 井戸掘削機材の調達(1 式) ・ 技術者派遣
地方給水施設整備計画フェーズ III	1994-1995	9.4 億円	東マジョナランド州の 2 郡	・ 井戸掘削機材の調達(2 式) ・ 深井戸建設工事 40 ヶ所
ビンガ地区地方給水計画フェーズ I	1997-1998	5.6 億円	北マタベレランド州ビンガ郡	・ 井戸掘削機材の調達(1 式) ・ 深井戸建設工事 5 ヶ所 ・ 水委員会設立 5 ヶ所
ビンガ地区地方給水計画フェーズ II	1998-1999	1.7 億円	北マタベレランド州ビンガ郡	・ 深井戸建設工事 25 ヶ所 ・ 水委員会設立 25 ヶ所

「ビンガ地区地方給水計画」では、深井戸建設資機材調達およびハンドポンプ付深井戸給水施設建設によるハード面の活動に並行し、住民による施設維

持管理体制確立のための住民啓蒙及び水委員会設立から成るソフト面における活動が実施された。ソフト面の活動はビンガ地区の水供給事業にも経験を持つ SCF に委託され、我が国支援により水供給施設が建設された地域を含む 40 コミュニティで実施された。同案件を、深井戸給水施設建設によるハード面の活動と、住民啓蒙・組織化によるソフト面の活動を合わせた水分野内の統合型アプローチと見なし、本調査の対象案件とすることとした。

なお、本調査の国内準備作業では、上記「ビンガ地区地方給水計画」と、JICA 開発福祉支援事業として英国 NGO の Save the Children Fund (SCF) が同じくビンガ地区で展開している「リプロダクティブ・ヘルスケア・プロジェクト¹」の 2 案件を統合型アプローチと見なし、評価対象に選定した。しかし、現地で情報を収集したところ、両案件はビンガ地区を対象としているものの、①日本側により給水施設が整備されたワード（村落の集合）と後者のリプロダクティブ・ヘルスケア・プロジェクトが対象としているワードは重なっていないこと、②それぞれの事業目標や活動に直接的接点が見られないこと等から、これらを統合型アプローチと見なすには無理があることが判明した。

「ビンガ地区地方給水計画」の概要を表 3-2（章末添付）に示す。同案件は、「対象地域の住民に安全な飲料水を持続的に供給する」ことを事業目標とし、対象グループは「ビンガ地区 21 ワードのうち緊急度が高いとされた 12 のワードに住む約 84,000 人の村民」であった。同案件の事業目標と主要活動の関係を図 3-1 に示す。

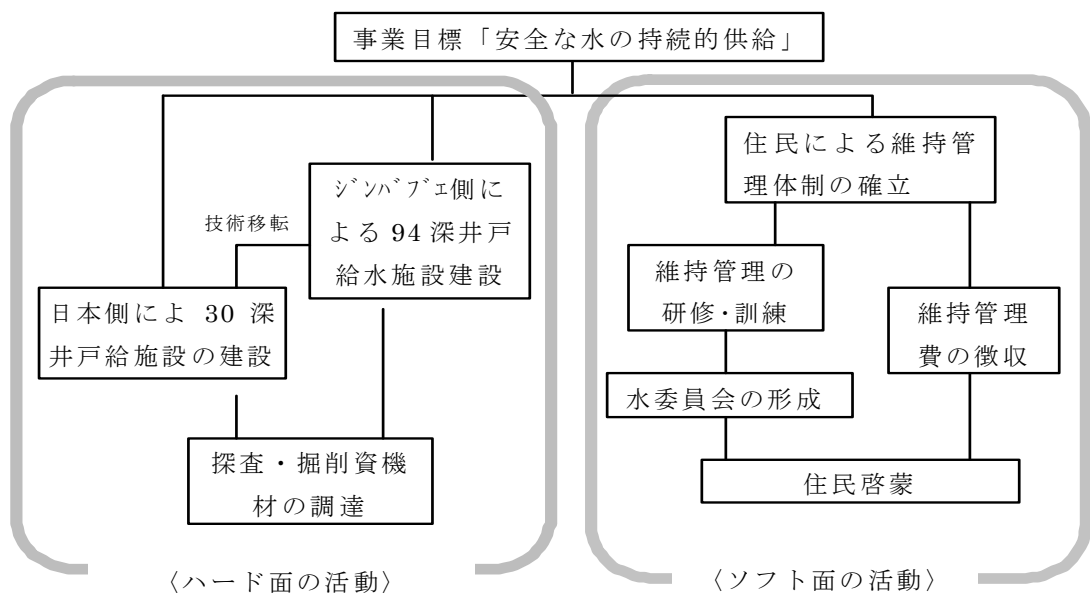


図 3-1 ビンガ地区地方給水計画の目標と主要活動の関係

¹ 青少年を対象とした教育活動等を通し、HIV/AIDS の知識・理解を深め、感染へのリスクを軽減することを目的とした。

(2) ザンビア

ザンビアでは、首都ルサカ市周辺の主に低所得者層が居住する地区において、我が国の支援により水供給事業を中心に複数の案件が実施された。実施プロジェクトの概要と、それらの関連性を表 3-3 のように分析した。各プロジェクトの対象地区は巻頭のプロジェクト位置図に示す。

表 3-3 ルサカ市周辺におけるわが国の支援によるプロジェクト群の概要

案件名	協力形態	実施期間	対象地域	プロジェクトの概要	他案件との関連性
① ルサカ市 周辺地 区給水 計画	無償資 金協力	基本設計 1993.3-1993.10 実施 1994.4-2000.3	ジョージ地区	コレラ等水因性疾患の多い同地区において、安全で安定した給水の実現を目的に、深井戸を水源とする管路型給水システムの建設。	給水事業の運営・維持管理体制づくりのための活動を、英国 DFID の資金協力を受けた CARE (NGO) との協調で実施。
② ルサカ市 プライマ ーヘルス ケアプロ ジェクト	プロジェ クト 方式技 術協力	RD 締結 1997.2 実施 1997.3-2002.3	ルサカ市 (パイ ロット事業をジ ョージ地区の 一部ジョージ・ プロハで実 施)	ルサカ地区保健管理局によるプライマリヘルスケア(PHC)運営体制の改善を目的として、地域型 PHC サービス向上のためのパイロット事業、ルサカ地区のリファレル・システムの改善、学校保健サービスの向上に係る活動を実施。本年 7 月より協力の第 2 フェーズを開始。	地域型 PHC サービスのパイロット事業地区として、上記①で給水施設が整備されるなど条件の整ったジョージ地区を選定。安全な水の適切な利用と衛生環境の改善促進、子どもの成長に関する PHC 活動を住民組織の参加を得て実施。
③ 参加型 給水事 業	開発福 祉支援 事業	1999.10-2003.1	ジョージ地区	上記①で建設された給水施設をルサカ市、ルサカ上下水道公社、住民自治組織のパートナーシップの下で持続的に運営・活用することを目的として、関連組織の強化・能力開発、給水事業運営体制の改善に係る活動を実施。	②と同様に①で給水施設整備などの条件が整えられたジョージ地区を対象に選定した。衛生教育に係るアプローチについて、上記②のパイロット事業との調整が行われている。
④ ルサカ市 小中 学校建 設計 画	無償資 金協力	基本設計 1998.2-1998.3 実施 1998-2000	ハウレニ、ジョン・ レイ、ンゴンベ、 ムマナ、チャイン ダ、リハラ、ハラ ストン、カブロンガ	ザンビア国の教育政策に沿った 9 年制小中学校の建設により、児童の就学機会の向上を図る。	学校建設対象地区の一部が、下記⑤のパイロット・プロジェクト対象地区と重なっているが、計画立案・実施段階での連携関係は無い。
⑤ ルサカ市 未計画 居住区 住環境 改善計 画調査	開発 調査	1999.3-2001.6	ハウレニ、チャイン ダ、チャサンガ、 チホリヤ、フリー ダム、カリキキ、ン ゴンベ、オールド・ カニヤマ (パイロット・プロ ジェクトをハウレ ニ、チホリヤ、ン ゴンベで実施)	ルサカ市役所と住民との協調による未計画居住区の住環境改善事業のモデル策定を目的とする。パイロット事業では、対象地区住民のニーズに基づき、各地区での住環境改善に係る優先課題について統合型アプローチを用いて事業計画を策定し、住民参加により実施、評価を行った。	上記の他の案件との間には連携関係は特に無い。

上記の各プロジェクト実施状況を確認したところ、ジョージ地区で実施された 3 案件についてその形成過程・実施過程で関連が認められた。つまり、無償資金協力

(表 3-3 ①) により建設された給水施設を利用し、その効果の持続的な発現を高めるために PHC プロジェクトのパイロット事業(同②)並びに参加型給水事業(同③)が実施されている。

これら 3 案件は、当初より統合型アプローチとして計画されたものではないが、計画立案時及び実施過程を通して、プロジェクトの相乗効果に配慮し、活動の調整が行われた。このため、本調査では「ルサカ市周辺地区給水計画」、「参加型給水事業」、「ルサカ市 PHC プロジェクト」の 3 つを合わせて水分野を超える統合型アプローチと見なし、「ルサカ市ジョージ地区生活改善プログラム」として評価対象に選択した。これら 3 案件の関係は次のように示すことができる。すなわち、ジョージ地区における安全な水の利用を目指して、無償資金協力(施設建設)、参加型給水事業、PHC プロジェクト(一部)を実施し、さらに PHC プロジェクトの残りの活動(環境衛生改善、保健・衛生サービス改善)と併せて上位の目標であるジョージ地区の保健・衛生状態の向上を目指すという関係を持っている。

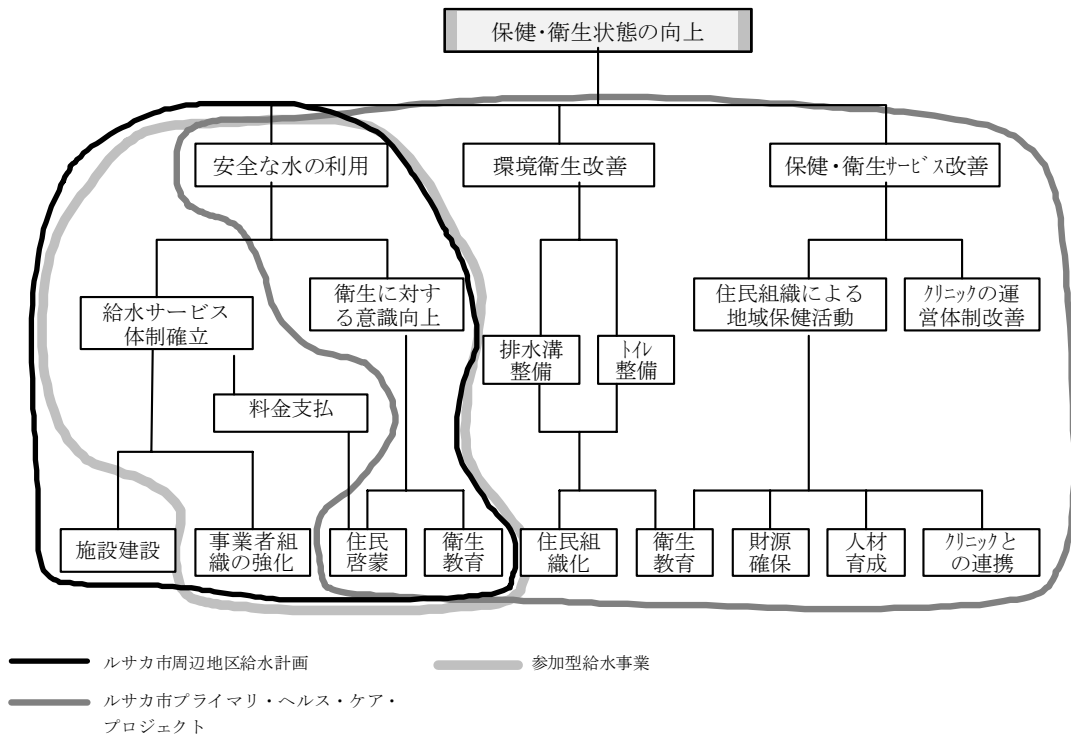


図 3-2 ルサカ市ジョージ地区における安全な水利用のための統合型アプローチ(3 案件)の目標と活動の関係

開発調査では、パイロット事業として統合型アプローチによる住環境改善事業を実施した。ただし、対象地域と実施期間が狭い範囲に限定されており、これらパイロット事業のジョージ地区全体へのインパクトを測ることは困難であった。同案件に関しては、上記統合型アプローチの評価を行う上で、ルサカ市周辺の他の地区で実施された住民参加型生活改善事業として位置づけ、対象アプローチとの

比較等を通して教訓を得ることとした。無償資金協力による小中学校建設計画に関しても、対象アプローチとの関係ははっきりとは見られないが、開発調査のパイロット事業と同じ地区で実施された学校建設と、コミュニティ内の給水事業の持続性および安全な水利用によるインパクト拡大との関連性について検討する。

評価対象の統合型アプローチの概要を表 3-4（章末）に示す。

3.1.2 評価デザイン作成

国内準備作業では、詳細調査項目抽出と評価デザイン作成のために、ジンバブエとザンビアの対象アプローチについて、評価用 PDM（プロジェクト・デザイン・マトリックス）と評価グリッドを作成した。

(1) ジンバブエ

ジンバブエの「ビンガ地区地方給水計画」の報告書並びに関連資料に基づいて、評価用 PDM（章末表 3-5）を作成した。さらに、対象案件の実績と実施プロセス、並びに第 1 章に示す 3 つの「調査項目（①水供給の持続性、②貧困削減へのインパクト、③その汎用性）」のそれぞれに関する詳細調査項目を抽出するために、評価用 PDM を分析して、評価グリッドを作成した（表 3-6）。

表 3-6 評価グリッド概要（ジンバブエ国 ビンガ地区地方給水計画）

評価項目	調査項目	必要な情報・データ	情報源	調査方法
実績	上位目標達成度	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児死亡率 水因性疾患罹患率 	<ul style="list-style-type: none"> 保健所 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> 資料レビュー 質問票調査
	プロジェクト目標達成度	<ul style="list-style-type: none"> 水供給率 水供給施設数 	<ul style="list-style-type: none"> 地方行政機関 	<ul style="list-style-type: none"> 資料レビュー
	投入の実績	<ul style="list-style-type: none"> 人的投入量、投入資金額 	<ul style="list-style-type: none"> 報告書 実施機関 	<ul style="list-style-type: none"> 資料レビュー 面接調査
実施プロセス	計画作成・実施の背景	<ul style="list-style-type: none"> 計画作成の背景、規模 	<ul style="list-style-type: none"> 報告書 実施機関 	<ul style="list-style-type: none"> 資料レビュー 面接調査
	実施機関のオーナーシップ	<ul style="list-style-type: none"> 実施機関の積極性(援助が引き上げた後を含む) 	<ul style="list-style-type: none"> 実施機関 	<ul style="list-style-type: none"> 資料レビュー 面接調査
	実施スケジュール、タイミング	<ul style="list-style-type: none"> 実施工程、コンポーネント 	<ul style="list-style-type: none"> 報告書 NGO 	<ul style="list-style-type: none"> 資料レビュー 面接調査
	住民参加度	<ul style="list-style-type: none"> 住民参加戦略 	<ul style="list-style-type: none"> 報告書 NGO 	<ul style="list-style-type: none"> 資料レビュー 面接調査
調査項目 I 水供給の持続性	I-1 水資源管理・利用の基本政策および計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> 水資源管理、利用計画およびその実施状況 	<ul style="list-style-type: none"> 政府水利関係担当者 	<ul style="list-style-type: none"> 資料レビュー 面接調査
	I-2 水供給計画策定、実施、モニタリング、評価の現状	<ul style="list-style-type: none"> 水利用および水供給計画の現状 実施機関の人的資源、資金源 	<ul style="list-style-type: none"> 実施機関 地方行政機関 	<ul style="list-style-type: none"> 資料レビュー 面接調査
	I-3 既存水供給施設の現状	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理計画と現状 意思決定プロセス 住民参加状況 政府による支援体制 政府-住民間の意思疎通状況 	<ul style="list-style-type: none"> 地方行政機関 水管理組織 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> 資料レビュー 面接調査 参加型農村調査(PRA) 質問票調査

評価項目	調査項目	必要な情報・データ	情報源	調査方法
調査項目Ⅱ へのインパクト 貧困削減	Ⅱ-1 住環境および生活改善の過程	<ul style="list-style-type: none"> 水供給率 水へのアクセス状況 生活様式の変化 トイレ普及率 水利用状況 	<ul style="list-style-type: none"> 地方行政機関 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> 面接調査 質問票調査
	Ⅱ-2 衛生意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> 水質保全行動の状況 手洗い実践状況 トイレ利用状況 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> 質問票調査
	Ⅱ-3 健康状態の向上	<ul style="list-style-type: none"> 水因性疾患罹患状況 死亡率への影響 乳児の栄養状態 	<ul style="list-style-type: none"> 保健所 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> 面接調査 質問票調査
	Ⅱ-4 住民参加の向上	<ul style="list-style-type: none"> 住民活動の状況 地域リーダーへの研修状況 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> 面接調査 質問票調査
	Ⅱ-5 福祉および所得の向上	<ul style="list-style-type: none"> 福祉および収入の変化 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> PRA 質問票調査
調査項目Ⅲ 汎用性 統合型アプローチへの	Ⅲ-1 計画策定、実施への住民参加	<ul style="list-style-type: none"> 計画策定、実施段階での住民参加状況 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> PRA
	Ⅲ-2 対象地域の特性	<ul style="list-style-type: none"> 地誌(歴史、変遷など) 住民活動 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> PRA 質問票調査
	Ⅲ-3 地域が保有する資源	<ul style="list-style-type: none"> 自然、社会資源の状況 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> PRA 面接調査
	Ⅲ-4 都市圏、情報へのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> 近隣地域との関係 Binga、Bulawayo への距離と交通手段 ラジオ、新聞の普及率 普及員の活動状況 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民 地方行政機関 	<ul style="list-style-type: none"> 面接調査 PRA
	Ⅲ-5 行政機関と地域との関係	<ul style="list-style-type: none"> 関連法規 地方行政機関との関係 開発計画における対象地域の位置づけ 	<ul style="list-style-type: none"> 地方行政機関 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> 面接調査 PRA 資料レビュー
	Ⅲ-6 他ドナー、NGO 等による支援	<ul style="list-style-type: none"> 他ドナー、NGO 等による支援の状況 	<ul style="list-style-type: none"> 地方行政機関 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> 面接調査 PRA

*詳細は添付資料 9 を参照

また、ジンバブエにおけるデータ収集の手法・手順を表 3-7 に示す。

表 3-7 ジンバブエにおけるデータ収集の手法・手順

調査手法	調査者	対象(者)	地域
1 関係者インタビューと資料収集	調査団	① 政府関係機関 ② ビンガ地区関係機関 ③ 主要ドナーと NGO	ハラレ、ブラワヨ、ビンガ、ハラレ
2 サンプル村における給水施設の視察と利用状況聞き取り	調査団	ビンガ地区で日本側により建設された深井戸給水施設 30 箇所のうち 10 箇所	ビンガ
3 サンプル村における質問票調査	現地コンサルタント	ビンガ地区で日本側により深井戸が建設された村 8 村 (20 世帯/村) と建設の無かった村 2 村 (20 世帯/村)	ビンガ
4 サンプル村における PRA	現地コンサルタント及び調査団	ビンガ地区で日本側により深井戸建設が行われた村 2 村	ビンガ

(2) ザンビア

ザンビアの対象アプローチである「ルサカ市ジョージ地区生活改善プログラム」についても、同様に、評価用 PDM（章末表 3-8）、評価グリッド（表 3-9）を作成した。

表 3-9 評価グリッド概要（ザンビア国 ルサカ市ジョージ地区生活改善プログラム）

評価項目	調査項目	必要な情報・データ	情報源	調査方法
実績	上位目標達成度	<ul style="list-style-type: none"> 参加型生活改善プロジェクト数の増加 住民参加組織の地域開発活動への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民組織 NGO 保健所 	<ul style="list-style-type: none"> 資料レビュー 面接調査
	プロジェクト目標達成度	<ul style="list-style-type: none"> 水因性疾患の罹患率の低下 乳幼児死亡率の改善 栄養不良児の減少 	<ul style="list-style-type: none"> 保健所 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> 資料レビュー 面接調査
	投入の実績	<ul style="list-style-type: none"> 人的投入量、投入資金額 	<ul style="list-style-type: none"> 報告書 実施機関 	<ul style="list-style-type: none"> 資料レビュー 面接調査
実施プロセス	計画作成・実施の背景	<ul style="list-style-type: none"> 計画作成の背景、規模 利害関係者間の情報共有状況 	<ul style="list-style-type: none"> 報告書 実施機関 援助機関関係者 	<ul style="list-style-type: none"> 資料レビュー 面接調査
	実施機関のオーナーシップ	<ul style="list-style-type: none"> 実施機関の積極性 	<ul style="list-style-type: none"> 実施機関 援助機関関係者 	<ul style="list-style-type: none"> 面接調査
	実施スケジュール、タイミング	<ul style="list-style-type: none"> 実施工程、コンポーネント 	<ul style="list-style-type: none"> 報告書 実施機関 援助機関関係者 	<ul style="list-style-type: none"> 資料レビュー 面接調査
	対象グループの広がり	<ul style="list-style-type: none"> 対象グループの構成、規模 	<ul style="list-style-type: none"> 報告書 	<ul style="list-style-type: none"> 資料レビュー
	住民参加度	<ul style="list-style-type: none"> 住民参加戦略 	<ul style="list-style-type: none"> 実施機関 援助機関関係者 	<ul style="list-style-type: none"> 面接調査
調査項目 I 水供給の持続性	I-1 水資源管理・利用の基本政策および計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> 水資源管理、開発の計画、実施、モニタリング、評価の状況 住民参加状況 	<ul style="list-style-type: none"> 政府水利関係担当者 	<ul style="list-style-type: none"> 資料レビュー 面接調査
	I-2 水供給計画策定、実施、モニタリング、評価の現状	<ul style="list-style-type: none"> 水供給の計画、実施、モニタリング、評価の状況 実施機関による資源の住民への移転状況 	<ul style="list-style-type: none"> 実施機関 	<ul style="list-style-type: none"> 面接調査
	I-3 既存水供給施設の現状	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理計画と現状 意思決定プロセス 住民参加状況 政府による支援体制 政府-住民間の意思疎通状況 	<ul style="list-style-type: none"> 実施機関 水管理組織 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> 資料レビュー 面接調査 参加型農村調査(PRA) 質問票調査
インパクト 調査項目 II 貧困削減への	II-1 住環境および生活改善の過程	<ul style="list-style-type: none"> 水利用者数の各層への拡大状況 水質、水量 水へのアクセス 生活サイクルの変化 保健施設の状況 保健衛生教育の状況 	<ul style="list-style-type: none"> 実施機関 保健所 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> 面接調査 質問票調査 PRA

評価項目	調査項目	必要な情報・データ	情報源	調査方法
	II-2 衛生意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> 水質保全行動の状況 衛生行動の状況 水の使い分け状況 手洗い実施状況 家庭における衛生環境改善状況 	<ul style="list-style-type: none"> 実施機関 保健所 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> 面接調査 質問票調査
	II-3 教育機会の向上	<ul style="list-style-type: none"> 小学校入学率 小学校退学率 就学前児童あたりの小学校数 識字率 	<ul style="list-style-type: none"> 統計資料 	<ul style="list-style-type: none"> 資料レビュー
	II-4 住民参加の向上	<ul style="list-style-type: none"> 意思決定への住民の参加状況 女性の意思決定へのサンタに対する認識状況 住民組織による行動計画の実施状況 地元有力者および住民の住民組織に対する認識 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民 住民組織 実施機関 保健所 	<ul style="list-style-type: none"> 面接調査 質問票調査
	II-5 福祉および所得の向上	<ul style="list-style-type: none"> 世帯所得の状況 主収入源 貯金の状況 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> PRA 質問票調査
調査項目Ⅲ 統合型アプローチへの汎用性	III-1 計画策定、実施への住民参加	<ul style="list-style-type: none"> 計画策定、実施段階での住民参加状況 	<ul style="list-style-type: none"> 住民組織 	<ul style="list-style-type: none"> 面接調査
	III-2 対象地域の特性	<ul style="list-style-type: none"> 地誌(歴史、変遷など) 住民活動 ジェンダーに対する認識 意思決定体制 	<ul style="list-style-type: none"> 住民組織 実施機関 NGO 	<ul style="list-style-type: none"> 面接調査 資料レビュー
	III-3 地域が保有する資源	<ul style="list-style-type: none"> 自然、社会資源の状況 地域リーダーの役割 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民 住民組織 	<ul style="list-style-type: none"> PRA 面接調査
	III-4 都市圏、情報へのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> 市内、市外へのアクセス ラジオ、新聞の普及率 地方行政機関によるモニタリング状況 	<ul style="list-style-type: none"> 実施機関 住民組織 	<ul style="list-style-type: none"> 面接調査 資料レビュー
	III-5 行政機関と地域との関係	<ul style="list-style-type: none"> 関連法規 対象地域の法的位置づけ 地方行政機関との関係 政治家の関係 	<ul style="list-style-type: none"> 実施機関 住民組織 	<ul style="list-style-type: none"> 資料レビュー 面接調査
	III-6 他ドナー、NGO等による支援	<ul style="list-style-type: none"> 他ドナー、NGO等による支援の状況 他ドナー、NGOによる住民参加アプローチ 	<ul style="list-style-type: none"> 他ドナー NGO 実施機関 住民組織 	<ul style="list-style-type: none"> 面接調査

*詳細は添付資料9を参照

また、ザンビアにおけるデータ収集の手法・手順を表3-10に示す。

表3-10 ザンビアにおけるデータ収集の手法・手順

調査手法	調査者	対象(者)
1. 関係者インタビュー及び資料収集	調査団	<ul style="list-style-type: none"> 中央政府関係省庁 各プロジェクトの実施機関 主要ドナーとNGO
2. サンプル・コミュニティにおけるキーインフォーマントインタビュー	調査団	<ul style="list-style-type: none"> 住民自治組織 学校および保健所
3. サンプル・コミュニティにおける質問票調査	現地コンサルタント	<ul style="list-style-type: none"> 住民
4. サンプル・コミュニティにおけるPRA	現地コンサルタント及び調査団	<ul style="list-style-type: none"> 住民およびタッフ・リーダー/タッフ・アテンダント

3.1.3 国内でのデータ収集

第一次国内作業では、関連プロジェクトの報告書レビューを行った。また、可能な場合にはプロジェクト関係者と面談し、プロジェクトの形成・実施、他のプロジェクトとの関連・調整、住民参加のあり方などを中心に情報を収集した。面談者リストを表 3-11 に示す。

表 3-11 国内インタビューリスト

対象プロジェクト	担当	面談者(組織名)	従事期間
参加型給水事業(開発福祉支援事業)	個別派遣専門家:住民組織化及び啓蒙活動	森直己 (日本テクノ)	1999.10-2003.3
ルサカ市プライマリー・ヘルスケア・プロジェクト(プロジェクト形式技術協力)	プロジェクト専門家:保健教育	妹尾美紀 (元 AMDA)	1998.7-2001.7
ルサカ市未計画居住区住環境改善計画調査(開発調査)	コンサルタント:住民参加	本田朋子(グローバル・リンク・マネージメント)	1999.3-2001.4

3.2 現地調査

3.2.1 ジンバブエ

(1) 相手国政府への説明・協議

現地調査では、JICA ジンバブエ事務所の協力を得て、政府関係省庁と合同会議を開催した。調査団は本評価の目的と概要の説明、調査への協力依頼を行い、出席者から調査内容に対するコメント・助言を受けた。協議の内容を盛り込んだ議事録(M/D)を作成し、今回の調査窓口である財務・経済開発省と署名を交わした。(議事録および合同会議主席者リストは添付資料1を参照のこと)

ビンガ地区においても、ビンガ郡庁(Binga Rural District Council: ビンガ RDC)の要請で、同地区での調査開始を前に関連機関への調査説明を行った。現地調査日程は添付資料2に示す。

(2) 関係者インタビューと資料収集

現地調査における主な面談先と収集資料を以下に示す。詳しくは、巻末に添付する現地調査面談者リスト及びインタビューの概要(添付資料3)、現地収集資料リスト(添付資料4)を参照のこと。

(2) サンプル村における給水施設の視察と利用状況聞き取り

ブラワヨにある DDF 州事務所及びビンガ RDC からは、日本が建設した深井戸給水施設の利用状況に関する既存資料を入手できなかった。このため、日

本で入手した資料から深井戸給水施設の所在リストを参考に、30 施設のうち 10 施設を視察し、可能な限り近隣の住民から利用状況などを聴取した。調査結果は第 4 章に示す。

(3) サンプル村における質問票調査

深井戸給水施設の建設が住民の生活に与えたインパクト、給水施設の運営管理状況について、対象地域の受益者及び非受益者を対象として、インタビュー形式での質問票調査を実施した。質問票調査は委託業務とし、現地コンサルタント PlanAfric 社が、質問票のプレ・テスト、調査補助員の訓練、調整、調査の実施、調査票の整理・集計を行った。質問票（添付資料 5）は調査団が作成し、現地コンサルタントのコメントと現地でのプレ・テストの結果を参考に修正し、最終版を作成した。

ビンガ地区地方給水事業で日本側がハンドポンプ付き深井戸給水施設を建設したのはビンガ地区（ビンガ地区は 21 ワードよりなる）の 5 つのワード内にある 18 村（合計 30 施設）であった。サンプル調査村は、時間的制約から、上記 5 つのワードのうち比較的道路状態の良い 4 ワードを選び、それぞれのワードから給水施設が建設された 2 村（計 8 村）と、建設が行われなかった 1 ワードから 2 村を選び実施した。調査を実施したサンプル村の人口と世帯数は以下の通り。サンプル村の位置は巻頭の地図に示す。

表 3-12 サンプル調査村の人口と世帯数

受益/非受益村	ワード	村落	人口	世帯数
サンプル受益村	Sinansengwe	Mucheni	988	180
		Chitete	414	83
	Sinakoma	Nampande	573	168
		Gande	996	173
	Manjolo	Manjolo	586	111
		Dumbwe	550	150
Sikalengwe	Damba	1556	299	
	Delanpuli	792	187	
サンプル非受益村	Saba-Lubanda	Chabubuluka	2717	330
		Mupumbe	471	56

ビンガ RDC 調べ(1994 年) 注: 受益村の場合も住民全てが深井戸建設の受益者とはならない

世帯レベルへの質問票調査を、上記 10 村から各 20 世帯、合計 200 世帯を対象に実施した。回答者は極力世帯内の女性とした。これは、水汲みをはじめとする家事労働は女性が行うことが多く、対象アプローチによる衛生環境を含む生活上の変化をより実感するという理解による。

ビンガ RDC の要請から、本調査のために現地コンサルタントが用意した類似調査での経験がある調査補助員ではなく、ビンガ RDC が推薦する人員の中から調査補助員を選出・訓練することになった。ビンガ地区ではンデベレ語や

シヨナ語を解しない女性も多いことから、質問は調査補助員が現地語であるビンガ語で行い、回答を英語で記入する形式をとった。

質問票調査の結果は4章で述べるとともに、概要を添付資料6にまとめた。

(4) サンプル村における PRA

事業が住民に与えたインパクト、住民による給水施設の運営・維持管理の状況およびコミュニティの特徴を理解するために、深井戸給水施設の建設が行われた村落2村（上記質問票調査サンプル村である Mucheni 村と Gande 村）で、PRA を実施した。PRA のファシリテーターは、質問票と同じく現地コンサルタント PlanAfric 社に委託した。

PRA の内容は、ビンガ RDC との協議により、政治的にセンシティブとなりうる項目については削除した。PRA 参加者、利用したツールについては、PRA ガイドライン（添付資料7）に示すように、それぞれの村で2日間ずつ、半構造的インタビュー、資源／社会マップ、ウェルス・ランキングなどを使い、PRA を進めた。

PRA の結果は4章で述べるとともに、概要を添付資料8にまとめた。

3.2.2 ザンビア

(1) 相手国政府への説明・協議

現地調査では、JICA ザンビア事務所の協力を得て、政府関係省庁及び関連機関とインセプション・レポート説明のための合同会議を開催した。調査団は本評価の目的と概要の説明、調査への協力依頼を行い、出席者と調査の内容について協議を行った。協議の内容を盛り込んだ議事録（M/D）を作成し、今回の調査窓口である財務・国家開発省と署名を交わした（議事録及び合同会議出席者リストは添付資料1を参照のこと）。

(2) 関係者インタビューと資料収集

現地調査における主な面談先と収集資料を以下に示す。詳しくは、現地調査面談者リスト及びインタビューの概要（添付資料3）、現地収集資料リスト（添付資料4）を参照のこと。

(3) 調査対象地域（サンプル・コミュニティ）の選定

調査対象アプローチの実施地域において、キー・インフォーマント・インタビュー、質問票調査、PRA、調査団による現地視察を実施した。各プロジェクトの対象地域はルサカ市周辺の広域に点在するため、これらの中から、以下の選定基準に基づいて George、Bauleni、Kalikiliki の3地区をサンプル・コミュニ

ニティとして選定した。

- ◇ 水供給分野に係る協力のみが行われた地域（セクター・アプローチ）
- ◇ 水供給分野及び他分野への協力が行われた地域（統合型アプローチ）
- ◇ 水供給分野における支援が全く行われていない地域（協力なし）

ルサカ市周辺地区の各居住区はルサカ市役所により合法化されると、「地域住民自治組織に係る規約」（**Constitution for Area-Based Organisation**）に基き、居住区内の開発課題の発掘、計画策定、実施のために地方自治体と住民とのインターフェースとして機能する RDC（**Resident Development Committee**）を組織する。市役所はまず居住区の区分け（**zoning**）を行い、一定数の世帯から成るゾーンを構成する。その中から住民の選挙により選ばれたゾーン開発委員会（**Zone Development Committee**）が設置され、ゾーンの代表者（ゾーン・リーダー）各 1 名が RDC を構成する。各ゾーンの生活環境改善など開発課題に係るニーズは、まずゾーンを単位としてゾーン・リーダーによりまとめられ、RDC が地区全体の行動計画に反映させる仕組みとなっている。

サンプル・コミュニティにおける住民を対象とした PRA 並びに質問票調査に際して、これらのゾーンを単位とし、各地区から更にサンプル・ゾーンを抽出した。上記選定条件に基き抽出されたサンプル・コミュニティと各調査のスコープを表 3-13 に示す。

表 3-13 現地調査対象地区と調査のスコープ

	調査対象地区 (サンプル・コミュニティ)	介入形態の カテゴリー分け	質問票調査		PRA	対象地区で実施されたプロジェクトの組み合わせ					
			調査地区	サンプル 世帯数	調査地区	給水施設 整備	維持管理 体制整備	衛生教育	保健向上	学校建設	所得向上
1	George Complex	統合型 アプローチ	ジョージ・プロハーパー (Zone 2-11) 人口:32,103 (1) 世帯数:7,107 PHC パイロット・プロジェクト 対象地域	計 40 世帯	ジョージ・プロハーパー (Zone 10, 11)	A	A+C+F	A+B+F	B	-	B+C+F
2	George Complex	セクター・ アプローチ	給水区 5 (Zone 16, 21, 27) 人口:13,160 (1) 世帯数:2,394 給水区 7 (Zone 14, 15, 26) 人口: 11,396 (1) 世帯数:2,009 無償資金協力による 給水事業対象地域 の中で、PHC パイロ ット・プロジェクト対象地 区以外の給水区域	各給水区で 40 世帯、 計 80 世帯	給水区 5 (Zone 16, 21) 給水区 7 (Zone 15, 26)	A	A+C+F	A+C+F	-	-	C+F
3	Bauleni	統合型 アプローチ	Zone 7, 8, 13 人口:6,000 (2) 世帯数:600 開発調査パイロット・プ ロジェクト対象地域	計 40 世帯	Zone 7, 8, 13	D	D	D	-	E	D
4	Kalilikiki	協力無し	全地域 人口:8,576 (3) 世帯数:1,715	計 40 世帯	-	-	-	-	-	-	-

プロジェクトの分類

A: ルサカ市周辺地区給水計画

C: 参加型給水事業

E: ルサカ市小中学校建設計画

B: ルサカ市プライマリーヘルスケア・プロジェクト

D: ルサカ市未計画居住区住環境改善計画調査

F: 他ドナー/NGOとの協調

- (1) GCEP で 2000 年 10 月に実施した世帯人口調査より
 (2) 「ルサカ市未計画居住区住環境改善計画調査」最終報告書要約版(2001 年 7 月)には Zone 8 と 13 の合計人口 4,000 人の記載がある。世帯数の記載がないが開発調査での世帯数の推定条件である 1 世帯 10 人を使用すると約 400 世帯となる。この人口、世帯数をもとに Zone 7, 8, 13 の人口・世帯数を推定した。
 (3) ルサカ市役所による 1999 年推定人口・世帯数

(4) サンプル・コミュニティでのキー・インフォーマント・インタビュー

① 住民自治組織

それぞれのコミュニティで、RDC メンバーよりコミュニティの形成・社会構造、プログラムの計画立案・実施・運営・維持管理における住民の参加状況・形態、地方行政機関および他のステークホルダーとの関係等について、半構造的インタビューによる情報収集を行った。ルサカ市では市役所が関係機関との協議を経て、2002 年 1 月に RDC 規約を改訂したことに伴い、全ての居住区における既存 RDC の解散と改訂版規約に沿った新 RDC の選出作業と能力開発のためのトレーニングが進められている。調査対象の George、Bauleni、

Kalikiliki については、Bauleni 以外の 2 地区で既に新しい RDC が選出されており、同委員会のメンバーに対しインタビューを行った。一方、Bauleni では新 RDC 選出に先立ち、ゾーン代表者の選挙が行われている段階であった。このため、これらのプロセスをルサカ市役所と協力して推進する住民代表者（タスク・フォース）のメンバーから聞き取りを行った。

また、George 地区では、RDC の下部組織として存在する水管理委員会および保健所の下に設けられている環境衛生委員会があり、両者から活動内容、住民参加の方法などについて聞き取りを行った。Bauleni 地区では、RDC ならびにトップ・アテンダントから給水施設運営体制や、維持管理の状況、住民からの支払い等について情報を収集した。RDC ならびにサブ・コミッティのいずれの場合にも、調査対象プロジェクト実施当時の状況を知るメンバーが含まれている。

② 学校及び保健所

ジョージ地区にあるジョージ中央初等学校、Salvation Army が運営するコミュニティ・スクールから同地区内の児童の就学状況、学校施設の児童受入能力、地区内で実施されている生活環境改善に係るプロジェクトと児童の就学状況改善との関係に対する見方等を中心に情報収集を行った。また、Bauleni においても、同地区にある 2 つの初等学校（内、一つは我が国無償資金協力の支援）から、ジョージ地区と同様に情報を収集した。

ジョージ保健所、Bauleni 保健所、Mtendere 保健所（Kalikiliki 地区には保健所が無く近隣の Mtendere 保健所が管轄している）において、保健所に外来する住民の水因性疾患の推移、コミュニティ内の既存衛生施設ならびに住民の衛生習慣、保健・衛生教育の実施状況と住民組織の係り、他のプロジェクトとの協調関係の有無等について聞き取り調査を行った。

(5) サンプル・コミュニティにおける質問票調査

調査対象とした事業が住民の生活、衛生状態などに与えたインパクト及び給水施設の運営・維持管理状況について、サンプル・コミュニティで、質問票調査を実施した。調査は社会調査を専門とする現地コンサルタント Waterpoint に委託した。質問票調査責任者の下、10 名の調査員が世帯レベルでのインタビュー形式の質問票調査を実施し、計 200 サンプルを回収した。質問票（添付資料 5）は調査団が作成し、現地コンサルタントとの協議ならびにプレ・テストを通して質問事項の見直しを行い修正の上、使用した。

調査世帯のサンプリングに際しては、以下の条件を採用した。

- a. 回答者は調査地区に 5 年以上居住していること。

b. 回答者の半数以上を女性とすること。

a については、質問票調査によりプロジェクトの実施前と実施後と比較して、インパクトを見ることを目的としていることから、プロジェクト完了前から当該地区に居住している住民からの聞き取りが望ましいためである。ただし、ルサカ市の都市周辺地区の人口動態は激しく、頻繁に居住者の移動が起こる。このため、回答者のサンプリング可能な範囲として、最低 5 年間の居住経験が妥当な範囲であるとの判断により設定した。b. に関しては、対象地区での水汲み仕事や家事労働の一般的な担い手の大半が女性であることから、社会環境の変化をより敏感に実感するであろう女性の意見を可能な限り引き出すために設定した。

質問票調査の結果は 4 章で述べるとともに、概要を添付資料 6 にまとめた。

(6) サンプル・コミュニティにおける PRA

質問票調査により定量的な情報収集を行った項目について、さらに PRA 手法を用いて定性的な情報の補足を行った。対象者は、一般の住民の中から選定された男女のグループと、公共水栓を日常的に管理するタップ・リーダー／タップ・アテンダントとした。

PRA の実施についても、質問票調査と同様に現地コンサルタント Waterpoint に委託し、ファシリテーターおよび補助員各 2 名でワークショップを進めた。PRA ワークショップで協議する内容ならびに手法、期待されるアウトプットを調査団がガイドラインとして作成し、ファシリテーターはこのガイドラインに沿って PRA を実施した。PRA の実施ガイドラインは添付資料 7 を参照のこと。

PRA の結果は 4 章で述べるとともに、概要を添付資料 8 にまとめた。

表 3-2 ビンガ地区地方給水計画の概要表(PLM)

プロジェクト名 (スキーム)	上位目標	プロジェクト目標	成果	投入	実施機関	プロジェクト 実施期間	対象地域	ターゲットグループ
ジンバブエ国ビンガ地区地方給水計画 (無償資金協力)	対象地域の健康状態並びに生活状況を改善する	対象地域の住民に持続的で安全な水の供給を行う	<ol style="list-style-type: none"> 124 のハンドポンプ付き深井戸が建設され量・質共に十分な水が供給される ジ国カウンタパートの水文・地理に関する知識が蓄積され井戸掘り技術が改善する 住民の深井戸給水施設の維持管理能力が向上する 住民の衛生に対する意識と行動が改善される 	<ol style="list-style-type: none"> 日本人コンサルタント ジ国カウンタパート 日本人調達業者 調査・ドリル機材及びその他の深井戸建設材 E/N 総額 5.6 億円 (フェーズ 1) and 1.7 億円 (フェーズ 2) 	地方資源水開発省水利局 2000 年の水セクター改革後、ジンバブエ国家水公社 (ZINWA) が実施機関となった	基本設計: 1997.1-1997.6 事業実施: フェーズ I: 1997.7-1999.2 フェーズ II: 1998.8-1999.12	ビンガ地区, Matabeleland North Province 日本側より 30 の深井戸給水施設がビンガ地区の 5 ワード (Muchesu, Sinakoma, Sikalenge, Sinansengwe, Manjolo) にて建設された	ビンガ地区の約 8 万 4 千人 (内 3 万 1 千人が深井戸の直接受益者と推定) 日本側より建設された 30 の深井戸の受益者は約 7,500 人

表 3-4 ルサカ市ジョージ地区生活改善プログラムの概要表 (PLM)

プロジェクト名 (スキーム)	上位目標	プロジェクト目標	成果	投入	実施機関	プロジェクト 実施期間	対象地域	ターゲットグループ
ルサカ市周辺地区給水計画 (無償資金協力)	対象地域の衛生環境が改善される	対象地域住民に安全な水が安定的に供給される	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロジェクトの基本計画が策定される。 2. 対象地域においてサテライト方式による給水システムが整備される。 3. 施設の運営・維持管理用機材が実施機関に配置される。 4. 実施機関ジョージ事業所による事業運営体制が整備される。 5. 対象地域住民による給水施設に対するオーナーシップ意識が向上する。 6. 対象地域住民が実施機関に協力して運営・維持管理に参加する体制が整う。 	人材： <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本人コンサルタント 2. 日本人/現地施工・調達業者 3. 実施機関カウンターパート 資機材： <ol style="list-style-type: none"> 1. 維持管理用機材 資金：	受入機関： MLGH, LCC 実施機関： LWSC	基本設計： 02/09/1993- 02/10/1993 事業実施： フェーズ 1： 04/1994-03/1996 フェーズ 2： 08/1994-03/1996 フェーズ 3： 08/1997-03/1999 フェーズ 4 08/1998-03/2000	ルサカ市 ジョージ 地区	ジョージ地区 の住民約 13 万 人 (2003 年)
ルサカ市プライマリーヘルスケアプロジェクト (プロジェクト方式技術協力)	ルサカ市市住民の健康状態が改善される	ルサカ地区におけるプライマリーヘルスケア運営体制がザ国保健改革方針及び戦略計画に沿う形で改善される	<ol style="list-style-type: none"> 1. パイロット地区において、コミュニティ型PHCプログラムが改善される。 2. ルサカ地区において、異なるレベルの医療機関間のレファレル・システムが効率的に運営される。 3. 学校保健サービスが効率的に運営される。 	人材： <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門家 2. 実施機関カウンターパート 資機材： <ol style="list-style-type: none"> 1. 車輛 2. 事務機器 3. 臨床及び検査機器等 資金：	受入機関： 保健省 カウンターパート機関： LDHMT	Record of Discussion： 17/02/1997 事業実施： 17/03/1997- 16/03/2002	ルサカ市 パイロット地区： ジョージ 居住区	保健サービス提供者 ・ LDHMT スタッフ ・ ヘルスセンタースタッフ ・ パイロット居住区の住民組織 (ジョージ)
ジョージ地区参加型給水事業 (開発福祉支援事業)	ジョージ地区の男女の貧困状況が解消される	ABO、LWSC、LCC間のパートナーシップを通じて給水サービスの運営及び利用方法が改善される	<ol style="list-style-type: none"> 1. 持続性及びジェンダーに配慮した住民参加の向上に向けて給水事業の運営体制が強化される。 2. 給水施設運営方法に対して対象地域住民の理解が高められる。 3. 効率的かつ参加型の給水施設運営・維持管理体制が構築される。 4. 浅井戸使用に関する問題について、実行可能な解決策が JICA PHC プロジェクトとの協調により考案される。 	人材： <ol style="list-style-type: none"> 1. JICA 専門家 2. CARE プログラムスタッフ 3. CARE プロジェクトマネージャー 資機材： <ol style="list-style-type: none"> 1. 事務機器 資金：	受入機関： LWSC 実施機関 (NGO)： CARE-PROSPECT	10/1999 - 01/2003	ルサカ市 ジョージ 地区	ジョージ地区 の住民

表 3-5 ビンガ地区地方給水計画概要表（評価用 PDM）

プログラムの要約	指 標	入手手段	外部条件
上位目標 対象地域の保健・衛生状況が改善される	<ul style="list-style-type: none"> 対象地域の乳児死亡率低下 対象地域の水による感染病発生率減少 	<ul style="list-style-type: none"> 保健センターの記録 保健センターの統計及び対象地住民の情報 	<ul style="list-style-type: none"> 国全体の政治・社会状態が安定している 対象地域の保健サービスが改善される
プロジェクト目標 対象地域の人々に安全で持続的な水供給を行う	<ul style="list-style-type: none"> 給水率の上昇 給水施設の利用度の向上 	<ul style="list-style-type: none"> RDC の記録 RDC の記録 	<ul style="list-style-type: none"> 対象地域の社会・経済状況が悪化しない
成果 1. 124 のハンドポンプ付き深井戸が建設され量・質共に十分な水が供給される	1-1 ジ国・日本両政府により建設されたハンドポンプ付き深井戸の数 1-2 供給される水の量と質	1-1 終了時報告書および ZINWA と RDC における記録 1-2 終了時報告書および地域住民からの情報	<ul style="list-style-type: none"> 旱魃により対象地域の水を取り巻く環境が悪化しない
2. ジ国カウンターパートの水文・地理学に関する知識が蓄積され井戸掘り技術が改善する	2-1 ジ国カウンターパートによる井戸堀の施工率 2-2 計画のとおり建設がすすむ	2-1 ZINWA の記録 2-2 ZINWA の記録	
3. 住民の維持管理能力が向上する	3-1 給水委員会がハンドポンプ破壊防止のための維持管理を実施する 3-2 地域住民が給水施設の運営維持管理に貢献する	3-1 水委員会および対象地住民の情報 3-2 水委員会および対象地住民の情報	<ul style="list-style-type: none"> RDC がコミュニティーのためにサポートサービスを設立する
4. 住民の衛生に対する意識と行動が改善される	4-1 安全な水の運搬、水不足時の対応、給水地の掃除等住民による水利用方法が改善される 4-2 住民が手を洗う習慣を身につける	4-1 対象地住民の情報 4-2 対象地住民の情報	
活動 <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの基本設計 ドリル機材・材料の調査および調達 水文・地理学的なノウハウ及び日本人コントラクターによる 30 の深井戸の建設を通じての技術移転 ジ国政府による残り 94 の深井戸建設 コミュニティーリーダーへの啓発活動 水組織の結成と訓練 対象地域住民への保健・衛生教育 		投入 人材: <ul style="list-style-type: none"> 日本人コンサルタント ジ国カウンターパート 日本人調達業者 施設: <ul style="list-style-type: none"> 調査・掘削機材及び材料 車両 ハンドポンプ 	<ul style="list-style-type: none"> スケジュールどおりに調達機材の運搬および税関手続きが行われる 技術訓練を受けたカウンターパートがプロジェクトに従事し続ける 前提条件: <ul style="list-style-type: none"> 政治的・経済的混乱がなく、プロジェクトがスケジュールどおりに実施される

表 3-8 ルサカ市ジョージ地区生活改善プログラム概要表（評価用 PDM）

プログラムの要約	指標	指標入手先	主な外部要因
上位目標 既存のプログラムの教訓を生かして、地域コミュニティ団体(ABO/CBO)による住民参加型の生活改善事業が他地域にも波及する	<ul style="list-style-type: none"> 対象地域で実施される住民参加型の生活改善プロジェクトの数が増える ABO/CBO による地域開発活動が活発になる 	<ul style="list-style-type: none"> LCC によるアクションプラン、NGO や他機関によるビジネスプラン、ABO/CBO からの情報 LCC、保健所、ABO/CBO からの情報 	<ul style="list-style-type: none"> LCC やその他の法的機関が適切な資源配分、規則に基づいた都市周辺地域の開発を支援する
プログラム目標 対象地域の住民健康状態、生活状況が改善される	<ul style="list-style-type: none"> 対象地域において水による伝染病感染が減る 対象地域における乳幼児死亡率 児童の栄養失調率の低下 	<ul style="list-style-type: none"> 統計及び保健所の記録、住民からの情報 統計及び保健所の記録 保健所の記録 	<ul style="list-style-type: none"> 既存プログラムの ABO/CBO の経験や知識が対象地域内のその他の ABO/CBO に受け継がれる ザ国政府が地域住民とのパートナーシップのもと、都市周辺の生活環境の改善を推進する政策を維持していく
成果 1. 対象地域でコミュニティメンバーにより給水サービスが持続的に活用される 2. 地域参加型のプライマリーヘルスケアサービスが持続的に運営される 3. 地域住民の飲料水、公衆衛生に関する知識と行動が改善される 4. ABO/CBO が地域住民のニーズについて理解し、地元組織やその他の関係者と協力して生活改善の向上に主体的に取り組む	1-1 異なる社会・経済階層の人々が水を利用するようになる 1-2 利用者が O&M コストを支払う 1-3 一日一人あたりの給水量 2-1 保健所や地域のヘルスワーカーの増加と能力の向上 2-2 地域ヘルスワーカーのモニタリング実施状況 3-1 家庭での水質の維持と向上の実施 3-2 衛生的な飲料水の供給・運搬・保存・服用の実施 3-3 多様な水源の利用 3-4 家庭レベルでの衛生環境の改善（適切な排泄物、ごみの処理等） 4-1 意思決定を通じての地域住民の生活改善事業への参加状況 4-2 ABO/CBO によるアクションプランの実施状況 4-3 地域組織や住民の ABO/CBO によせる信頼度	<ul style="list-style-type: none"> LWSC や NGO によるモニタリング記録 LWSC によるモニタリング記録 LWSC によるモニタリング記録 LDHMT のレポート、保健所の記録 LDHMT のレポート、保健所の記録、CHW の情報 LCC/LDHMT/保健所によるモニタリング記録、地域住民からの情報 LCC/LDHMT/保健所によるモニタリング記録、地域住民からの情報 LCC/LDHMT/保健所によるモニタリング記録、地域住民からの情報 LCC/LDHMT/保健所によるモニタリング記録、地域住民からの情報 LCC、ABO/CBO 及び地域住民からの情報 ABO/CBO からの情報 LCC、LWSC、保健所及び地域住民からの情報 	<ul style="list-style-type: none"> 住民を取り巻く社会経済状況が基本的な社会サービスへの支払いができないレベルまで悪化しない 地表水の状況が悪化し、持続的な給水を妨げることがない 給水サービスの提供者がサービスを続ける
活動	投入		
ルサカ市周辺地区給水計画（無償資金協力）	人材： 1. 日本人コンサルタント、 2. 日本側/現地施工・調達業者 3. カウンターパート 機材： 1. O&M 用機材 資金：		
ルサカ市プライマリーヘルスケアプロジェクト（プロジェクト方式技術協力）	人材： 1. JICA 専門家、 2. カウンターパート 機材： 車輜、事務用機材、クリニック、ラボ用機材 資金：		
ジョージ地区参加型給水事業（開発福祉支援事業）	人材： 1. JICA 専門家、 2. NGO プログラムスタッフ、 3. NGO プロジェクトマネージャー 機材： 事務所機材 資金：		